

2024年度 第68期受講生 募集

平安書道研究会のご案内

奈良・平安の名筆をじかに鑑賞できる歴史ある講座です

開講：2024年5月

伝藤原行成筆 関戸本古今和歌集断簡



[講演風景]



[講演風景]



[受講風景]

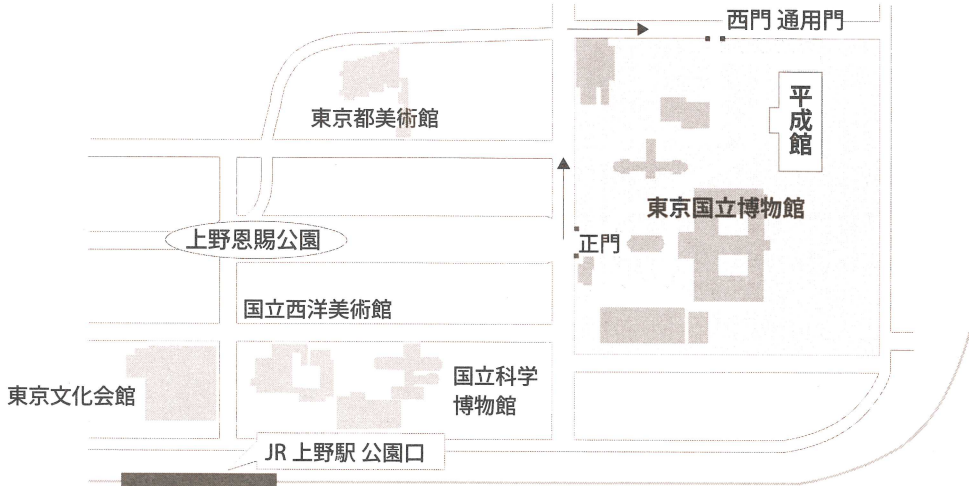


[古筆資料参観風景]

[講座会場]

東京国立博物館：平成館 大講堂
東京都台東区上野公園 13-9

通用門より入館の際必ず入口の守衛の方に本院発行のバッジを提示し、着用してください。なお、車での入館は堅くお断りします。

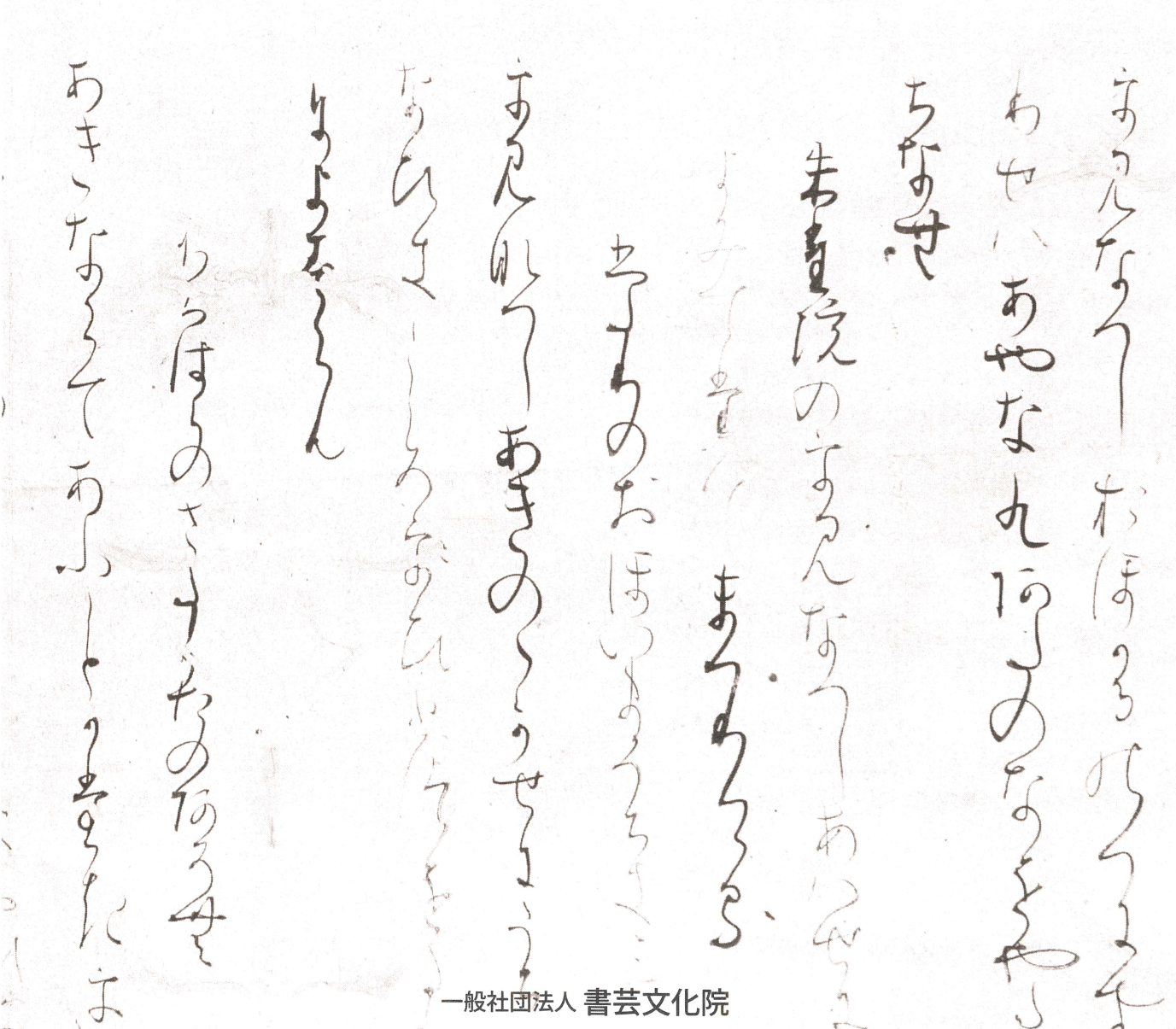


お問い合わせ

一般社団法人 書芸文化院 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-2

TEL 03-5281-0717 FAX 03-3233-2890

<http://shogeibunkain.jp/>
e-mail: bunkain.1224@gmail.com



一般社団法人 書芸文化院

平安書道研究会のご案内

一般社団法人書芸文化院では昭和25年から平安書道研究会を主宰し、発足以来70年余、月に1回開催して、2024年度で第68期生を迎えることとなります。

書家・古筆研究家・教育家であった飯島春敬(1906～1996)により、伝来の古美術品への啓蒙と普及や文化財保護の精神の喚起を目的として、昭和24年11月に「平安古筆名品展」を開催し、国宝・重要美術品など約100点を展覧しました。この展示を契機として昭和25年1月に、東京国立博物館大講堂で毎月1回「春敬記念書道文庫」所蔵の名筆を出陳、講義を行うという「平安書道研究会」が結成されました。その後、当研究会の節目ごとに記念の展覧を行っております。昭和33年100回、昭和37年150回、昭和42年200回、昭和50年300回、平成4年500回、平成12年600回、そして平成28年800回と記念の展覧会を開催して、書道界の発展・興隆に寄与してまいりました。

平安書道研究会最大の見どころは春敬書道記念文庫所蔵の「古筆展示」です。飯島春敬が生涯をかけて蒐集・分析した1000点に及ぶコレクションの中から毎回5、6点の古筆を研究会の参加者はガラスケースを通すことなく、直に見ることができます。また、研究会の内容は、「日本書道史の講義・列品解説」、客員講師による「古筆研究の講義」、かな書道の専門家による「臨書講座」という三本立てになっております。ぜひ、研究会にご参加いただき、古筆の息遣いを感じて、至福の時を過ごされては如何でしょうか。

客員講師には、池田和臣先生、笠嶋忠幸先生、高木厚人先生、名見耶明先生、四辻秀紀先生という錚々たる斯界の権威にお願いしております。

客員講師

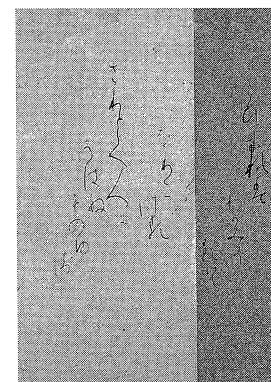
池田和臣(中央大学名誉教授) 笠嶋忠幸(出光美術館学芸部次長)
高木厚人(大東文化大学教授・書道研究所所長) 名見耶明(筆の里工房副館長)
四辻秀紀(徳川美術館特任学芸顧問)

専任講師及び臨書指導講師

飯島太比呂 石川昇玉 大賀晴苑 大林靖芳 鬼頭墨峻 慶徳紀子
酒井美春 棧敷東石 佐藤芙蓉 佐野玉帆 鷹野理芳 高橋孝春
松井玉箏 本橋郁子 渡辺貴彦 渡辺墨仙



飯島春敬



伝 藤原行成筆 古今集切

■ 講座の特色 ■

- ・日本書道史を学問的、美術史的にとらえながら教授します。
- ・講座の内容は、「日本書道史の講義・列品解説」、客員講師による「古筆研究の講義」、かな書道の専門家による「臨書講座」という三本立てになっております。この間に古筆鑑賞が適宜行えます。
- ・毎回、春敬記念書道文庫所蔵の古筆類を露出展示しますので、古典の息吹を直接感じることができます。
- ・日本書道史の年表を利用して、上古から江戸時代まで、3年間で履修できます。
- ・臨書によって古典の美が習得できるよう毎回臨書講座を設け、提出された清書は翌月丁寧に添削・指導します。
- ・本講座は3年制とし、1年修了毎に修業証書を、卒業時には卒業証書を授与します。
- ・受講生には学年末に古筆の鑑定と書道史の○×試験を行います。また、3年間の修了時には、レポートを提出していただきます。
- ・卒業後も引き続き受講できるように、「特待制度」、正規の学生でなくとも受講できるように「聴講生制度」を設けています。
- ・学期の始まりは毎年5月になります。
- ・本講座は、原則として東京国立博物館平成館大講堂を会場として、毎月第2日曜日の午前11時から午後3時半までとします。ただし、会場の手配の関係で、他の会場や日曜日に変更する場合があります。尚、当面はコロナ対策のため、正午開始で午後4時半までとしております。
- ・受講生は、会場の売店で書芸文化新社が出版する書籍は1割引で購入できます。

平安書道研究会の全学年予定課目

- 1) 日本書道史
上古時代、飛鳥時代、白鳳時代、奈良時代、平安時代、鎌倉時代、室町時代、安土桃山時代、江戸時代。
- 2) 客員講師による最新の古筆研究の講義
古筆とは、墨蹟とは、古筆の見方、古筆臨書法、文房具の話、高野切、御物と漢朗詠集、奈良・平安時代の写経、隆能源氏絵巻、桝色紙、寸松庵色紙、関戸本古今集、西本願寺本三十六人集、元暦校本万葉集、十卷本歌合、継色紙、元永本古今集など多岐にわたる講義を予定。

授業料

	入会金	学費	年会費	資料代	合計
1年生	6,000	50,000	3,800	4,300	64,100
2・3年生(在籍者※)	-	42,800	3,800	2,800	49,400
特待生	-	28,000	3,800	2,800	34,600
聴講生(年6回)	-	30,000	3,800	1,400	35,200
1回受講券	-	-	-	-	6,000

注1: 特待生とは本講座を卒業し、引き続き受講する者をいいます。
注2: 当金額は1年ごとの授業料です。
注3: 聴講生は卒業生の資格を得ることは出来ません。
注4: 高校生、大学生(院生を含む)、専門学校生を対象に学割制度もあります。
注5: お振込みの際は、なるべく郵便局のATMをご利用いただくと幸いです。
※ 令和6年5月に在籍している3年生の学費は入学時のままとします。